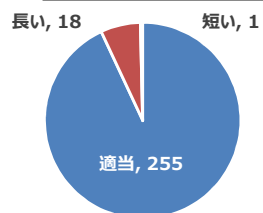


〔アンケート調査の目的〕

- 工事検査の効率的かつ適正な執行や建設業における生産性向上、働き方改革の取り組み状況等を踏まえ、検査課が実施する工事検査の状況を把握し、業務改善の参考とするため、令和5年度に完成検査を受検した施工業者に対してアンケート調査を実施しました。
- 5月第4週の完成検査から依頼を開始し、令和6年3月末まで**475**件の完成検査のうち**275**件の提出がありました。（提出率**57.9%**）
- 設問は全部で8問あり、回答は以下のとおりでした。

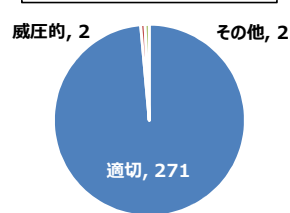
1 検査に係る時間



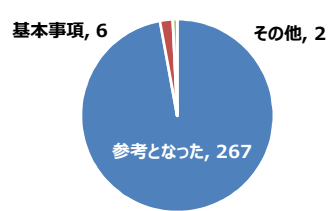
2 検査の進め方



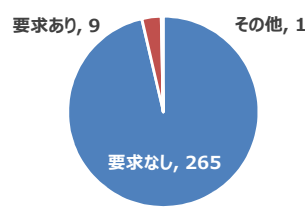
3 言葉づかいや態度



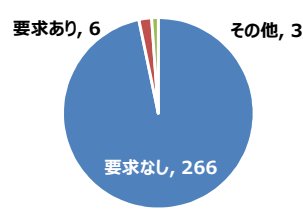
4 指導内容等の参考



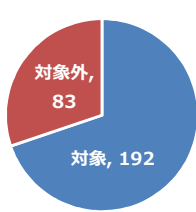
5 規定のない書類要求



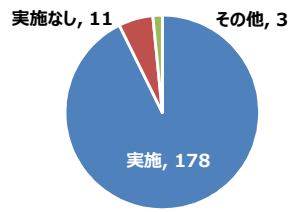
6 管理基準以上の要求



7 工事書類簡素化



8 簡素化に基づく実施



*「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」の対象か否か（発注者が指定）の設問

〔概要〕

設問1 検査に係る時間について

検査は午前書類、午後現場検査を目安として実施しており、検査にかかる時間について回答を求めたところ、検査時間が長いという回答が1割程度ありました。意見として、中間検査・完成検査は同一検査員での検査、中間検査で確認した内容を完成検査時は確認不要とするなどがありました。

設問2 検査の進め方について

検査の進め方について回答を求めたところ、すべて適切であるとの回答でした。意見として効率的に進行されていることや休憩を設け実施されているなどがありました。

設問3 言葉づかいや態度について

検査員の言葉づかいや態度について回答を求めたところ、威圧的との回答が2件ありましたが、適切であるとの回答が多数でした。意見として、丁寧な言葉づかいや態度、対等な立場で検査されていたなどがありました。

設問4 指導内容等の参考について

検査時のアドバイスや指導が参考となる内容であったか回答を求めたところ、参考となったとの回答が多数でした。施工計画書や現場管理、品質管理など多岐にわたり参考となったとの意見が多くありました。

設問5 規定のない書類要求について

仕様書に規定のない工事書類の要求があったか回答を求めたところ、要求があったとの回答が9件ありました。主な内容は施工計画書の作成内容や出来形図作成等でした。

設問6 管理基準以上の要求について

出来形・品質・写真管理で仕様書の管理基準以上の要求があったか回答を求めたところ、要求があったとの回答が6件ありました。主な内容は、出来形・品質管理の上下限值の設定等に関する意見でした。

設問7 工事書類簡素化

検査を受けた工事が工事書類の簡素化試行対象であったか回答を求めたところ、83件が対象外でした。対象外の工事は、建築工事・設備工事の一部土木工事がありました。

設問8 簡素化に基づく実施

工事書類の簡素化試行対象であった場合は「宮城県における工事書類簡素化の試行要領」に基づき実施したか回答を求めたところ、11件が未実施でした。主な理由は書類が不足することへの懸念や監督職員との協議により未実施との意見でした。

〔総括〕

今回実施したアンケートで、検査時間については長いという意見が1割程度ありましたが、検査の進め方、言葉づかいや態度、指導内容は高い評価となっており、検査は適正に実施されている結果となっています。

工事書類簡素化の試行は、指定されていても実施しなかった工事が11件あったことから、担当部署と情報共有します。

また、主な意見や要望に関しては対応のとおり取り組んでいくとともに、その他、いただいた内容についても、今後の検査の参考といたします。

「専門検査員による工事検査に係るアンケート」で寄せられた主な意見等への対応

項目	意見	対応	
検査に係る時間について	中間検査と完成検査は同一の検査員で実施してほしい。	職員の人事異動などの制約はありますが、できる限り同一の検査員が担当するよう配慮します。	
	中間検査時に確認した内容は、完成検査時は確認不要とすれば検査時間の短縮になるのではないか。	工事成績考査のため、完成検査時に改めて確認が必要となる場合もあります。	
	施工計画書等の書類関係は発注者に提出し承認を得ているため、検査時の確認は簡素化し検査時間を短縮してもらいたい。	工事成績考査では施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映していることも評価対象となっているため確認しています。	
規定にない書類要求について	総合評価で提案した項目を施工計画書に該当部分を抜粋して記載するよう指導された。	「施工計画書作成要領（案）」「農業農村整備事業等工事施工計画書作成の手引き」に基づき指導しています。	
	出来形図作成に関し、図示されていない数値も記載するよう指導された。	共通仕様書では「設計寸法と対比した出来形寸法を記載し作成する」と明記されており記載の必要はありません。	
	施工計画書に記載した施工方法を写真等で記録するよう指導された。	工事成績考査では施工計画書に記載された施工方法で施工されていることも評価対象となっているため、写真等で記録するよう指導しています。	
その他意見等	出来形	出来形管理におけるばらつき判定で、マイナス規格値しかない場合、規格値を反転することにより管理基準が厳しくなる場合の管理方法を示していただきたい。	上限値がなく施工管理が難しい場合は、施工前に発注者との協議により、設計値の代わりに管理目標値を設定することが可能です。
	品質	品質のばらつき判定で、コンクリート等の強度は仮想上限値（呼び強度の1.5倍）を設け判定を行うとされているが、情報がなく対応できなかった。	工事検査に関する情報は検査課のホームページで公表しています。今後も情報提供が必要な内容はホームページでの公表に努めます。
	書類の簡素化	工事成績（過去5年平均等）が高い業者は書類等の簡素化を図ってもらいたい。また、参考程度の書類は作成不要としてもらいたい。	工事書類の簡素化については、担当部署と連携しながら検討していきます。また、共通仕様書等で定めのない書類は省略可能です。
		国土交通省が実施している「検査書類限定型工事」を宮城県でも導入してもらいたい。	担当部署と連携しながら検討していきます。
		建設業退職金共済制度の履行確認は簡素化してもらいたい。また、建退共以外の退職金制度を利用している場合、証明書類の提出は必要でしょうか。	建設業退職金共済制度は現場説明書に記載されていることから、その内容を関係書類で確認しています。また、適切な退職金制度等への加入は評価対象となっています。
	その他	安全管理関係資料は、監督職員の確認のみとし、検査時の確認は簡素化してもらいたい。	安全管理関係は、成績評定考査で評価をする際に関連資料として確認しています。
		検査書類等の整理に関する指導について統一してほしい。	できる限り検査員毎に異なる指導とならないよう配慮しています。
		検査項目の細部について公表してもらいたい。	工事検査に関する各種情報は検査課のホームページで公表しています。